

**あきらめたらおしまい—失業期間中の過ごし方を考える—**

—作新学院大学での講演を補って—

開倫塾

塾長 林 明夫

**1. はじめに**

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)最近、あちこちの短期大学や大学、大学院に呼ばれまして、大変な状況の中で、どのようにしたら就職戦線を勝ち取れるかというお話をするようにご依頼をいただいております。
- (3)11月24日は作新学院大学に行き、大学1・2年生に1時間半のキャリアアップの講話をさせていただきました。テーマは「あきらめたらおしまい—自分の未来は自分の力で切り開こう—」でしたので、今日はそのお話をさせていただきます。

**2. あきらめたらおしまい—失業期間中の過ごし方を考える—作新学院大学での講演を補って—**

- (1)就活についていろいろなテーマでお話をさせていただいている中で、もしかしたらこのようなことは不吉な話で中々言いにくいことかもしれませんが、ある程度仕事をしていると、この仕事は自分に合わないの次次の仕事を見つけるまで仕事をお休みする期間があります。それを失業期間と捉える方もいらっしゃると思います。大切なことの一つとして失業期間中の過ごし方も考えたほうがよいと思います。先日、そのことを学生さん達にもお話ししようと思っていたのですが、時間が無くて話すことができませんでした。ですから、今日はその代わりにこの放送でお話させていただきますと思います。
- (2)失業期間中の過ごし方で一番大事なものは、「あきらめたらおしまい—自分の未来は自分で切り開こう—」という考え方を基本に持つことです。失業期間中こそ自由だと考えて、こんなに自由なことはないとポジティブに・積極的に考えて気分を明るく楽しく、そして元気よく過ごしていただきたいと思います。明るく楽しく元気よくです。よく考えれば、仕事が無いと落ち込んでいても誰も喜びません。落ち込んで何の解決にもなりません。逆に、落ち込めば落ち込むほど周りの人を心配させ、迷惑をかけてしまいます。できれば、心配をかけないように、明るく楽しく元気よく過ごしてもらいたいと思います。
- (3)そのためには、毎日規則正しい生活をする・体調を整える、これが一番大事だと思います。失業中に生活を乱してしまいますと、いざ仕事に就いた場合にすぐには規則正しい生活にもどることができず、仕事が成り立たないこともできます。ですから、失業中であろうといつでも仕事に就けるように規則正しい生活をして、体調を整えていただきたいと思います。息を深くして呼吸を整える、精神を整える、これが大事だと思います。

- (4) また、失業中こそ「勉強、勉強、また勉強」、これをお願いしたいと思います。では、どこどのように勉強したらよいのかと言いますと、1日1回は図書館に行って1～2時間くらいかけて新聞をなめるように読み、世界や日本、地域の現状と課題を正確に認識するとよいと思います。こういうときしか勉強できないような勉強をとことんやってみる。それから、雑誌の記事や論説も腰を落ち着けてじっくり読み込み、様々な事柄についてより深い認識を得ることも大事です。
- (5) さらには、自分の専門領域、このような仕事がしたいという自分の専門の仕事があると思いますので、その専門領域の知識や情報、技術を深めるために1日5～6時間は図書館や喫茶店、自宅などどこでもよいですから机に向かう。そして、その成果を少しでも、たとえ1行でもよいですからノートに記録しておくこともよいと思います。
- (6) 図書館の中には大学の図書館も含まれます。先日、作新学院大学の図書館に行きましたが、大学の図書館は一般の方も使えます。図書館の係の方に市民であることを伝え、手続きをすれば、どこの大学の図書館も入れてくれますので、ぜひ大学の図書館を活用して下さい。宇都宮大学の大学図書館も使えます。白鷗大学の大学図書館も使えます。足利工業大学の大学図書館も使えます。ほとんどの短期大学の図書館も使えます。このように、どの大学の図書館も全部使えます。ですから、失業中の方こそ、ぜひ大学の図書館で一日中勉強することをお勧めします。
- (7) また、新しい職場で求められるのは、思慮深さを備えた規律ある人材、自律的に活動できる人材であると思います。そのような雇われる能力を再び身につける大切な期間として失業期間中を考えたほうがよいと思います。
- (8) 語学、特に英語の勉強もしたほうがよいと思います。英語の勉強については新しいことをやる必要はありません。中学校時代、高校時代の教科書や参考書をもう一度声を出して読み直す。教科書がなければ、本屋さんに行くと教科書ガイドを売っています。教科書ガイドには英文や単語の意味が載っていますので、それを買ってきていただいて声を出して読み直す。できれば、何回も何回も音読練習をし、書けなさそうな単語は書き取り練習もする、これがよい方法だと思います。
- (9) 図書館にある英字新聞を一面から毎日1～2時間、日本語の新聞を読んで、内容のよくわかっている記事を見つけて辞書なしで読む訓練をすることをお勧めします。
- (10) さらに、コンピュータも少しはできないと困りますので、仕事に必要と思われるコンピュータの知識や技術もこの機会にしっかりと身につける。また、仕事とは何か・人生とは何かについてじっくりと考えてみる。自分はこのような生き方をしたいと思うようなモデルになる方がいらっしやいましたら、その方の伝記を何回も読むとよいと思います。ワードとエクセルはぜひ、使いこなせるようにして下さい。
- (11) 地元にとどまってもよいのですが、週に1～2日は地元から出てみる。できれば、月に1～2回は小さな旅行を試みる。また、できれば、失業中に1回ぐらいは海外に出掛けて世界の動きを見る。中国やインド、タイやベトナム、お隣の韓国や台湾、ロシアなどにぜひ出掛けてみることをお勧めします。バック・パッカーに挑戦するのもよい勉強です。
- (12) 体力の強化や気分転換のために数日に1回、できれば1日1回は体育館に行ったり散歩をしたりして下さい。また、栃木県や群馬県、茨城県には温泉がたくさんあります。500円～1000円、

安いところでは 400 円ぐらいで入れる日帰り温泉に行ってリフレッシュをしましょう。美術館や博物館、神社仏閣も栃木県や群馬県、茨城県にはたくさんありますので、気分転換に出掛けて見識や教養を深める。そのようなこともやっていただければと思います。このように、この際したい勉強があれば、思い切りしてみることもおもしろいです。

(12) 失業期間中も人生の中で大切な時期ですので、焦ることなく次への大切なステップの時期と考えて、充実した毎日を送っていただきたいと思います。そして、これぞと思うような企業・勤め先があったら、どうすれば社会的使命が達成されるのか・自分はそこで何ができるのかを突き詰めて考えた上で、採用担当者に直接会うことも 1 つのチャレンジです。

(13) 学校に行き直すのも素晴らしいチャレンジです。現在、どの学校も入学者が減っていますので、専門学校や短期大学、大学、大学院は、社会人をいくらでも受け入れてくれます。社会人として再入学することもおもしろいです。科目等履修生としてなら、東京大学大学院も入学はそう難しくはありません。コミュニティ・カレッジとして大学を開放している大学・短大もたくさんありますので、まずは、そのようなところも利用していただければと思います。

### 3. おわりに

(1) 「あきらめたらおしまい」です。「自分の未来は自分で切り開く」ことで、失業期間中を過ごしていただければと思います。

(2) 今日、先日作新学院大学で講演したときにお話できなかった内容をご紹介します。皆さんはどのようにお考えでしょうか。

— 2018 年 8 月 20 日加筆・訂正、林明夫 —